

事務事業評価(事前評価)シート【令和5年度】

主管課(担当名)	こども子育て課(こども子育て担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	保育施設等医療的ケア児受入事業	事業番号	13002

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-04	児童保育の充実
	施策目標	多様化する保育ニーズに応え保育環境の充実したまち	

2 事務事業の目的

目的	保育所や幼稚園、認定こども園等に入所・入園を希望する医療的ケア児の受入に対応するため、医療的ケアを行う看護職員を配置・派遣することで、医療的ケア児が教育・保育施設に通うことを可能とし、当該児童の発達を保障することを目的とする。
成果	医療的ケア児の受入を行う幼児・保育施設に看護師が配置されることにより、医療的ケア児が他の児童と同等の日常生活及び社会生活を営むことが可能となる。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input checked="" type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	R2							
R3								
R4								
R5	医療的ケア児の受入を行う民間幼稚園に対し、看護師配置に係る経費の一部を補助する。							
R6	医療的ケア児の受入を行う民間幼稚園に対し、看護師配置に係る経費の一部を補助する。							
事業費と内訳	(単位:千円)	R2	R3	R4	R5	R6	総事業費	
	事業費				5,436	5,436	10,872	
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		ふるさと関連基金				5,436	5,436	10,872
		その他						
	一般財源							
	人員(人工)				0.17	0.17	0.34	
	職員費(人員×7,455千円)				1,267	1,267	2,534	
総事業費				6,703	6,703	13,406		
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R4)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	医療的ケア児を受入する保育・幼児施設	1施設	-	増加
	幼児・保育施設の看護師配置人数	1人	-	増加
			-	
			-	
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	幼児・保育施設に看護師が配置されることにより、医療的ケア児が他の児童と同等の日常生活及び社会生活を営むことが可能となる。
--------------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 市内に居住する医療的ケア児を持つ保護者から、民間幼稚園の利用希望の相談がある。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 医療的ケア児支援法に掲げる基本理念にのっとり、市は自主的かつ主体的に医療的ケア児及びその家族に対する支援に係る施策を実施する責務がある。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 民間幼稚園の利用を希望している医療的ケア児は、既に入園可能な年齢に達しており、適切な支援を図る上で緊急性は高い。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 民間幼児・保育施設における受入体制の整備を行政が支援する観点から適切と考える。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 本事業は医療的ケア児が他の児童と同等の教育・保育を受けるための支援を目的としており、公平性は高いと考える。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 看護師配置により医療的ケア児の受入が可能となることで、当該児童の健やかな成長が図られるなど、有効性は高いと考える。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 速やかに事業推進を図るとともに、医療的ケア児が教育・保育施設に通うことを可能とし、当該児童の発達を保障することができるよう、環境整備に努められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 事業の推進にあたって、医療的ケアを行うための看護師確保が課題となっていることから、引き続き、課題解決を図りながら、環境整備に努めてまいりたい。

作成年月

令和5年7月